

# 大地から小さな学校のおたより

ブラジル第3アリアンサ富山県日本語学校便り NO14 9月号

9月に入ると、暑くなってきました。扇風機がないと汗が出てきます。日本ではそろそろ、寒くなってきていますね。ブラジルの9月はたくさんの花に出会いました。イッペイの木はピンク、黄色、白色とあります。前はピンク色でしたね、今回は黄色と白色が咲きました。

子どもたちは元気に学校へ来ています。「僕、日本語能力試験頑張る」といって意気込んでいます。12月に行われる能力試験に、みんな受かるといいですね。そのためには私がもっと頑張らなくてははいけません。去年に比べて、みんな一生懸命に勉強しています。



## 子どもテストがありました。でも…



子どもテストがありました。みんな結果はどうだったのかな。テストが終わり、車で帰る途中、なんと車がガス欠になってしまいました。ブラジルにももちろん携帯電話があります。今では日本語学校の中学生、高校生はみんな持っています。

「先生、僕のお父さん、来る」と言って、子どもたちがすぐ携帯電話で対応してくれました。こんなちょっとしたことでしたが、子どもたちが頼もしく見えた瞬間でした。いいぞ！みんな大人になれ！そして、ちょっとした瞬間に日本語が話せる姿からも、成長を感じさせてくれました。いいぞ！もっと勉強しろ！なんとなく心が温かくなる出来事でした。

## 今年は「シンデレラ」に決定！

今年の卒業式には、なんと「シンデレラ」を上映することになりました。上映？と聞いて分からない方もいるかもしれません。第3アリアンサ富山県日本語学校では、毎年12月に学習発表会を含む卒業式が行われています。昨年、この卒業式で青年会による「変な顔の桃太郎」の写真劇が上映されました。大爆笑の内に終わった桃太郎、今年は「シンデレラ」でさらに爆笑の再来を計画しています。（まだ村の人たちには内緒にしています。）「日本文化とどう関係があるのですか」と思われる方もいるかもしれません。しかし内容は舞踏会が盆踊りだったりガラスの靴がわらじだったりして、日本風にアレンジされています。今年は私の好きな「お笑い」をテーマに学習発表会をしてみようと思っています。「みんなで日本語を使いながら笑うことができる」これは、実は移民時代からとても大切にしてきた日系人たちの文化と言ってもいいと思います。第3アリアンサもかつては村の人たちで、劇をしたり、踊ったりして、みんなで笑って困難な時代を乗り越えてきました。過疎化が進む第3アリアンサでは、もしかすると「笑うこと」が一番大切なことのように思います。みんなで元気になって、この時代の困難を乗り越えてほしいと思います。



## 日曜日になるといつもロデオが行われています

日本語学校は、土曜日にも開校しています。土曜日用事があるって登校できない子どもは日曜日に授業を受けます。授業が終わると、いつも軽快なブラジル音楽が流れてきます。その音楽がなると、「あっ、またロデオだな」と気付きます。周りは広大な牧場ですが、ここでの人達はこうして休暇を楽しんでいるようです。

## 今月の夜学はのし袋の書き方です。



皆さんはのし袋を、結婚式などで使ったことがありますよね。ここアリアンサでも、結婚式やお葬式でお金を払う慣習があります。これは日本文化というよりは、ブラジル全体でも行われているので、日本と共通した文化と言えます。

ここアリアンサでは、封筒にお金を入れて、日本語で書く習慣があります。今回はその勉強をしました。どんな時にどんな文字を書くのか皆さんで勉強し、ついでに「御祝」の「御」の意味を皆で話し合い、尊敬語、丁寧語の勉強にもなりました。皆さんとても日本語が上手なので、たくさんの質問が出てきました。

私は東京外国語大学の研修が本当に活かされたかどうか分かりませんが、冷や汗をかきながら説明しました。

## 今度はミランド、アリアンサ、カラオケ大会

「またか」とお思いになる方もいらっしゃるかもしれませんね。お馴染みのカラオケ大会です。私はもう3回目の出場だったので、今更「きらいです」ということも、信ぴょう性がなくなってきました。

今回はミランドポリス市とアリアンサ地区の対抗戦でした。結果はなんと0,1点差でアリアンサチームが勝ちました。カラオケ大会を開くほどですから、皆さん本当に歌が上手です。小さい子からご高齢の方までたくさんの人たちが参加していました。最後にゲストでブラジル人のカラオケの先生が歌ったのですが、これがまた上手なので驚きました。今度は紅白歌合戦です。「よし、がんばるぞ！」あれ？カラオケ嫌いだったのに……。



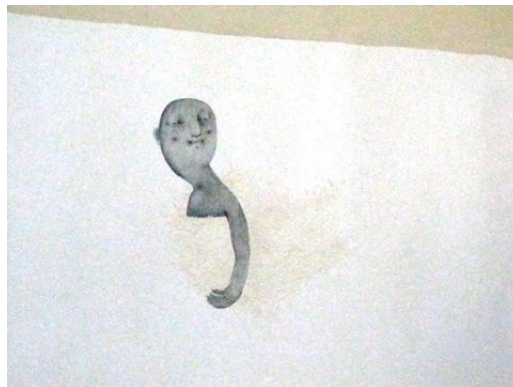
## もう一つの夜学は「かつ丼」でした。



村の行事などでは、今までに流しそうめん、トン汁、親子丼、お寿司などを紹介してきました。その度に「先生、夜学で料理教えてください」と言われ、今回は「かつ丼」に挑戦しました。ブラジルのパン粉は日本と違ってさらさらしています。そして醤油は日本のように塩辛くありません。しかし、味を微調整していくと日本と同じ味を出すことができました。塩を入れ、砂糖を入れ、なんとかなるものですね。今回はにぎり寿司に挑戦です。皆さんとても楽しみなようです。私も頑張ります。

## あと半年になりました。

早いもので、あと半年で私の任期が終わります。やり残したことがないように、今もう一度気を引き締めて頑張りたいと思います。私の挿絵も後6回ですね。ブラジルの風を感じながら挿絵を描くことは、日本に帰ったらできないことです。ここでの生活は忙しいですが、テレビがない夜の時間はかけがえのない時間に思っています。私は日記をつけないのですが、代わりに絵を描いてきました。絵を描くとその時の情景がよみがえってきます。この時こんな気持ちだった、あの時こんなことがあったということが、鮮明に思い出され、その中に子どもたちや村の人たちの笑顔が甦ってきます。本当に大切な時間を過ごしていることに感謝しております。



挿絵「大地の日記—風の人—」2009年9月制作